

北般若だより

2026年(令和8年)4月1日
第349号
北般若自治振興会
北般若公民館

各地区自治会役員名 (4月1日現在)

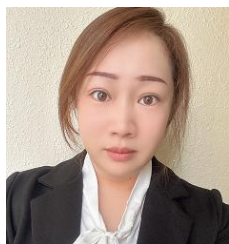
新年度を迎え各自治会内の自治会長、同副会長並びに公民館長の体制を案内します。

北般若自治振興会の総会は4/26開催(★印は新任)

自治会名	自治会長	副会長	公民館長
戸出西部金屋	林志訓★	高畑祐一★	大坪富治男
新西部金屋	高嶋信一	加賀田進	
石代	古瀬昇	井林秀文	荒木義信
吉住	吉井健正	本田信之 本田勝次	高田修市
吉住新	玉井邦昭	大谷佳久	大谷光平★
吉住又新 市営住宅	李艶飛★	品川英二★ 高橋浩一★	—
大清水	林光彦	中島秀浩 野島浩史	山田剛
春日	塚本潔	長谷川利明	服部欣二
徳市	山田徹★	山本正弘★ 小芝桂一★	吉田宗夫★

吉住又新住宅自治会長 李艶飛氏 就任

皆さん、こんにちは。李艶飛(リ・イェンフェイ)と申します。中国出身で、日本に来て12年、吉住又新に居住して10年になります。この吉住又新住宅は、学校・保育園・駅・ショッピングモールが近くにあり、とても便利です。とても静かで住みやすい所です。



この度、令和8年度自治会長を務めさせて頂くこととなりました。どうぞよろしくお願い致します。

北般若地区等の動き

- 4/8 戸出東部小学校入学式
- 4/9 戸出中学校入学式
- 4/16 なのはな元気教室
- 4/26 北般若自治振興会・北般若公民館総会



大井正樹氏(元市議会議員)挨拶

私は昨年11月に7期26年勤めた市議会議員を引退しました。皆さんにはこの間ご支援ご協力頂きましたことを、心から御礼申し上げます。



私は平成11年春に初当選以来、地方議員が果たすべき役割を全力で全うしてきたと自負しております。今回、退任の挨拶を記すにあたり26年間で得た経験を皆さんにお伝えし

考えてもらい、北般若地区の発展に繋がればと思っております。現在北般若には地方議員が居なくなりました。しかし将来の幸せな郷土づくりが約束される大切な要件は二点あります。今このことを皆さんにお伝えし、北般若地区の将来についてお考え頂きたいと思っております。一点は、身近な地方議員の存在と働きであり、二点目は行政からの支援であります。この二点がうまく噛み合わないと地域の発展は現実のものとなりえません。そして特に身近な議員の存在は、行政を動かす大きな力にもなります。ここで皆さんにお願いしたいのは、各議員がその使命に対し責任ある行動を執っているかどうかを見極めて頂きたい、このことでもあります。

議員は大きく二つに分かれます。一つは国会議員であり、他は地方議員であります。国会議員は私達国民を取り巻く全ての分野の法律を作り又改正する職責であり、一方地方議員の仕事は地域住民の要望を予算化し実現することです。その為には、北般若を誰よりも愛する地方議員を擁立すること、又その議員が北般若地区の要望事項を行政に対し、丁々発止の要求・協議しているかどうかを皆さんがチェックしていくこと、これらのことが郷土を良くしていく大切な要因であると信じております。

以上、未来永劫北般若地区が発展し続けることを願ひ、私の退任の挨拶と致します。 大井正樹

地域の宝! 巣立ちの春

令和8年3月13日、高岡市立戸出東部小学校で卒業証書授与式が行われた。

卒業する児童45名一人一人の名前が読み上げられ、越田真佐美校長から卒業証書が授与された。

この春、小学校を卒業する子供たちはコロナ禍が広がる頃に入學した。校長先生の式辞に「休校からスタートし我慢できること、工夫することを学び、たくましく立派に成長してくれました」と、卒業生45名に“はなむけの言葉”を贈った。出町高岡市長は、自身の経験談から、できなかったことが出来た喜び、目標を持つことの大切さ、地域の見守りが皆を支えていると、祝辞を述べた。

卒業生が別れの言葉、「未来に向かって羽ばたきます!!」と元気よく“最後のチャイム”の曲で、呼びかけと合唱で感謝と決意を伝えた。青島幸子



戸出中学校 卒業式

3月12日(木)高岡市立戸出中学校第79回卒業証書授与式が行われました。窪田俊介校長から卒業生1人1人に卒業証書が手渡された後「人は人との関わりの中で、磨かれ成長していく。人との出会いを大切にしてほしい」と、はなむけの言葉が贈られました。



そして、卒業生を代表して畔川晃太郎さんが3年間の中学校生活を振り返り「困難や苦勞に直面した時、戸出中学校で学んだ『仲間との絆』『努力することや最後までやり抜くことの大切さ』を思い出し、どんな壁も乗り越えていきます」と、未来に向かって力強く答辞を述べていました。来賓や保護者、在校生の見守る中、厳粛に式は進行し最後に美しい卒業の歌「旅立ちの日に」が体育館に響き渡りました。

教室で担任と最後のホームルームを終えた後、チューリップの芽吹く温かい日差しの中、在校生や保護者に見送られ、97名の卒業生は学び舎を巣立ちました。

高岡市立戸出中学校 教頭 北村陽一

令和8年産 水稻について

市場における米不足の影響から令和6、7年と米価は過去に無いほど値上がりしました。令和7年産米は、JAの概算金で60kgあたり26,000円となりました。

現在の米市場は、令和7年産の全国的な増産、備蓄米の放出等により市場の品薄状態は解消されております。しかし、集荷業者が当初に高く買い付けた結果、安く市場に流通させることができず、現在でもスーパー等の小売りでは高い価格で販売されております。

令和8年産は、富山米の需要等を考慮した結果、令和7年に比べて増産に舵をきりました。米価は、不透明な部分も多く見通しが立たないところもありますが、令和7年産に比べ落ち着く予想をしております。JAグループとしては米価の安定、農家手取りの確保を念頭におき、これからも取り組んでいきますので今後ともよろしくお願ひいたします。 JA 営農指導員 二谷慎亮

シャッフルボードでひと時の憩い

春日長生会は、2月28日(土)、春日公民館で18人が参加してシャッフルボード大会を開催しました。競技終了後は表彰式を兼ねた懇親会を行なって、親睦を深めました。この時期、家に閉じ籠ってばかりで運動不足になりがちなことから、平成9年に故加藤長作さん(加藤利長さんの父)から用具一式の寄贈を受け、以来30年間、向春恒例の行事として続いています。



このスポーツは、先が小さな「さす又」状のスティックを用いて、円盤を交互に4回押して枠に入った得点を競うゲームです。カーリングに似て、はじかれにくい位置で得点する技や駆け引きが必要となります。



大会に先立つ1週間は毎日公民館に集まって練習に励みました。普段余りしゃべる機会が少なくなったせいか、練習の合間に飲み物片手にテーブルやストーブを囲み、和気あいあいと近況を語り合い交流を深めました。春日長生会長 坂東昭夫